

令和7年11月26日
 環境局環境政策課

次世代型太陽電池の実証事業を開始します

次世代型太陽電池は、軽量かつ柔軟で、従来型の太陽光発電設備が設置できない場所にも取付可能であることから、本県のような豪雪地帯など太陽光発電の導入が進まなかった地域でも活用が期待されています。

県では次世代型太陽電池の雪国における実証事業を支援することとしており、このたび、事業者が新潟県庁舎で実証事業を開始しますのでお知らせします。

なお、実証事業の概要は下記のとおりです。

記

1 実施事業者

株式会社 SOLABLE、株式会社 PXP、株式会社坂詰製材所 ほか

2 事業概要

株式会社 PXP が製造するカルコパイライト太陽電池を用いて、実証試験を行うもの

設置場所	箇所数	太陽電池容量合計	実証試験内容等	設置時期
新潟県庁3階 東回廊渡り廊下	1	0.1 kW	太陽電池の特性（軽量・柔軟・簡易性）を活かした施工・発電状況を確認	R7.11.26
株式会社坂詰製材所 (阿賀野市)	3	5.0 kW	折板屋根、カマボコ型屋根、テント地建物屋根・壁面での施工方法、雪面反射光の影響等を確認	R7.12中旬を予定
妙高市公共施設	2	5.5 kW	多雪地における湾曲屋根での施工方法、雪の自然落下の状況、雪面反射光の影響などを確認	年度内を予定



本件についてのお問い合わせ先
 環境政策課カーボンゼロ推進室 秋山、高橋
 (直通) 025-280-5150 (内線) 2701